

宇都宮市民憲章

1 健康で、心のふれあう明る

いまちをつくります。

2 きまりを守り、活気あふれる

楽しいまちをつくります。

3 学ぶことを大切にし、文化の薫

る美しいまちをつくります。

としあか

編集・発行 宇都宮市立図書館 明保野町7番57号 〒320 Ⅷ 36-0231

移動図書館同乗記

主婦のリポート



一月十日、当館の移動図書館車一号車に、主婦の安達澄子さんに同乗をお願いしました。
安達さんは、昨年貸出百万冊記念表彰のときの、前後賞を受賞された方です。



取材中 右が安達澄子さん

「さつき号」で出発

移動図書館のバス「さつき号」に乗って貸し出しの様子を見せたいだくことになりました。

一月十日の朝九時、前日までに職員の方によって整然と揃えられた二千五百冊の本と、職員の方二名と共に、今年初めての巡回へと

市立図書館を出発しました。

「今日は良い天気だけれど、冷え込みが強く本を借りる人が待っているかしら」と思いながら最初のステーションに着きました。

幼児を連れた親子の方が待っていてくれました。職員の方が、テーブル、椅子、読み取り機等をバスから降ろし、貸出しの準備が出来

た頃、手さげ袋を重そうに下げたお母さんとお子さん、自転車で来る人、「ハア、ハア、」と息せききって走って来る子など、見る見るバスの回りや中がいつぱいになりました。皆、にこにこ楽しそうに本や紙芝居を選び、そして借りるのに列を作っています。職員の方は、貸し出し、返って来た本の整理に大忙しです。こんな多勢の人が、移動図書館を利用し、沢山本を読んでいるので、本好きの私は、とてもうれしくなりました。

あるステーションの利用者で、赤ちゃんをおんぶした若いお母さんが、
「街まで何キロも離れていて、近くに本屋さんもないので、移動図書館は、読みたい本をリクエストすると持ってきてくれるから、とてもいいです。有難いですね」と言っておりましたけれど、本当に実感がこもっておりまして、また、初めて貸し出しカードを作っていた方が、
「図書館のバスが見えたので急いで来た。」
と話をしてくれました。

小学生たちに感激

あるステーションは、市内からかなり離れた所にある小学校の校

巡回を終えて

市立図書館まで行かない方が、二週間毎に巡回してくれる移動図書館を、「待ち遠しい」「助かっています」「有難い」と言う気持ちで利用し、勉強なさっているようです。

読書は、全ての勉強の基本であるし、また心の糧です。これから読書の輪を広げ、私自身一冊でも多く本を読みたいと思っています。そのためにも大いに図書館を利用させていただこう、と帰りのバスの中で強く感じた次第です。

全国から集まった方言たち

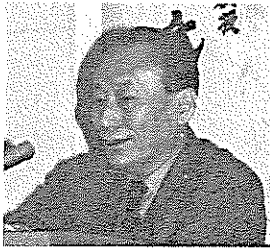
「〇×県の方言が知りたい。」という問合せが、例年、小学生から多数寄せられます。質問者が、小学生であるために、既存資料では

難解で、小学生用として書かれた絶対数は、とても少ない状況です。そこで、全国各地の観光協会・連盟に、方言が記載されているパ

ンフレット・てぬぐい・のれん・ハガキの寄贈を、昨年末から呼びかけ始めました。その地方の、最も代表的な方言を、わかりやすい資料で知るための対策です。

現在のところ、73件

南	北	東	西	中	南	北	東	西	中
盛岡あべエじヤ(行きましよう)	アイヌイナクル(幸)	九森すびたれ(けちんぼ)	北海道ばんきり(いつも)	アイヌユーカラ(詩)	盛岡ごじやける(腹が立つ)	北海道けっぱる(一生懸命する)	九森さってば(すゝぐに)	北海道めんこい(可愛い)	九森こぶしもち(げんこつ)
盛岡ひよんなな(妙)									



奥野健男氏 講座

エッセイと小説

文芸評論家、多摩美術大学教授の奥野健男氏を迎え、昭和58年12月3日(土)、ずいひつ講座「エッセイと小説」の講演が行われました。講演は、奥野氏の淡々とした口調の中にも誠実さがあふれ、特に文学者の内幕を興味深くうかがうことができました。氏はエンジンアとして東芝で働いていましたが、文学が好きで、そのうちそれが本業になってしまったのです。そもそもペンクラブの言葉の由来は、ポエム、エッセイ、ノベル

の呼びかけに対して、21件の回答がありました。贈られてきた方言てぬぐいの一部から、「方言番付表」を作ってみました。(上図)現在、収集中の方言資料を、ご覧になる場合は、三階調査相談カウンターでお申し出ください。なお、資料は、まだまだ十分とはいえません。各地の方言が、記載されている資料をお持ちの方は、どしどし寄贈くださいますようお願いいたします。資料は、図書、のれん、てぬぐい、ハガキ、パンフレットいずれでもかまいません。あなたのふるさとのなつかしいことばを、みんなに!!

図書館にある方言の本

- ・日本の方言地図 (中公新書)
- ・方言 (岩波講座日本語 11)
- ・方言の世界 (平凡社)
- ・日本人の方言 (筑摩書房)
- ・日本の方言 (講談社)
- ・日本縦断ふるさと語情報館 (大和出版)
- ・全国方言資料 (日本放送協会)
- ・全国方言辞典 (東京堂出版)
- ・分類方言辞典 (東京堂出版)
- ・全国方言辞典1・2 (角川書店)
- ・日本方言辞典 (日東書院)
- ・北から南・方言物知り辞典 (啓明書房)

※方言の分類番号は818です。

の頭文字を取ったもので、文学のジャンルからも順序だっています。詩は、古代から文学の王様であり、小説は近代の申し子です。しかし現在、文学は自己表出となり、詩や随筆が文学の中心になってきました。また、日本に発達した独特の文学、私小説が注目されています。それぞれの原風景(子供の頃の印象や思い)があつて、それを表現したい場合に、小説、随筆、絵歌等があるのです。無理に小説にする必要はなく、随筆でいいのではないかと結論されました。

有効期限は だいじょうぶ?

あなたの貸出券の裏側を見てください。券の有効期限の日付がスタンプされているはず。有効期限は、券を作った時から3年間です。期限が過ぎたら、必ず券を持って、図書館で再度手続きをしてください。

貸出券は大切に使いましょう。

利用方法(りようほうほう)

利用方法	利用方法	利用方法
借出期間(かいしゅくかん)	借出期間(かいしゅくかん)	借出期間(かいしゅくかん)
開館時間(かいがんじかん)	開館時間(かいがんじかん)	開館時間(かいがんじかん)
休館日(きゅうかんび)	休館日(きゅうかんび)	休館日(きゅうかんび)
有効期限(ゆうこうきげん)	有効期限(ゆうこうきげん)	有効期限(ゆうこうきげん)

借りたい本をなく
失本? したときは、職員
紛失? に申し出てくださ
汚? い。届け出がない
と、督促の電話で
ことになりま。汚したときも、
だまってカウンターに返却せず声
をかけてください。紛失や汚損に
関する罰則はありませんが、以後
気持ちよく利用するためにも事故
は早目に届けて、弁償の手続きを
すませるのがルールです。

文庫ぶっく

5

司会 さっそくですが、文庫の目的をお聞かせください。

福田 絵本の収集・研究、それと絵本図書館に来る人達への読書相談及び普及です。

我妻 分館の家庭学級の自主活動から発足し、母親が子どもの本を勉強する場となっています。

林谷 くらぶに遊びに来た子ども達が、本を読んで、この本好きだという本に出会えたら、と思い、文庫をつくりました。

司会 活動の内容は？

福田 会員とのパイプ役として、機関誌「絵本通信」を刊行しています。

我妻 昨年、紙芝居「本願寺縁起」の復元が終り、今年は、昭和地区の昔話を一冊の本にまとめて、当時の遊び、服装などを子ども達に伝えていこうと、考えています。

福田 素晴らしいですね。本を読むだけでなく、お話を伝えてあげること、

母親の役目じゃないかしら。

我妻 そう、そして母親自身も楽しむ。

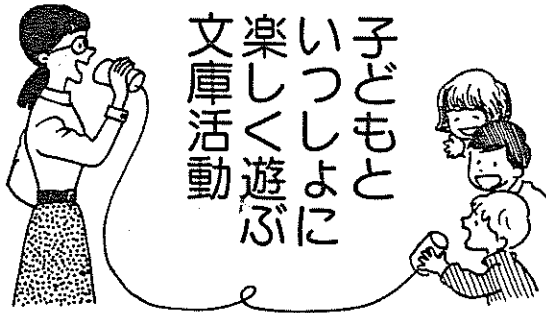


福田さん

しむ。家庭学級の中で紙芝居をやった時、舞台装置にドライアイスを使うなど工夫を凝らしたら、子ども達の雰囲気も盛り上がりました。一番楽しんでいたのは、紙芝居をやったお母さん達だった。

福田 親が楽しんでいる表情・態度を、子どもは自然とみていますからね。

子どもと いっしょに 楽しく遊ぶ 文庫活動



林谷 それに、子どもはすべてスマートにやることを期待している訳ではないと思う。失敗を恐れず子どもと一緒にまずやってみることが大切ですね。

司会 ところで、子どもと読書について、どう考えますか。

林谷 うちのくらぶでは、読書よりも集団遊びが中心です。そこで

心と体の触れ合いが生まれ、自分達の思っている事が自由に言える環境ができています。

福田 好ましい雰囲気ですね。

林谷 ええ。

本に関して

言えば、一

つの本でも

友達と共有しているんだという意識が芽生えてきています。



林谷さん

我妻 集団の中で、知らず知らずのうちに上下関係を身につけ、子ども達同士で切磋琢磨できますね。

福田 絵本図書館では絵本の研究が出发点だったので、遊びはやっていませんでした。でも、これからは遊びも取り入れていきたいと思っています。

林谷 ただ本を選んで帰るだけでなく、子どもの留り場みたいな場所があってもいいんじゃないかしら。

福田 そうですね。これからの文庫は、もっと楽しめる遊びの要素も必要ですね。

我妻 そう、母親が



我妻さん

いい意味でおせっかいをしてあげて、遊びと読書の橋渡しの役目をしてあげるといいですね。

文庫の紹介

○宇都宮絵本図書館

発足 昭和五十二年九月

所在地 戸祭元町二三九三

代表者 福田史子(TEL25-2843)

会員 六十一世帯

開庫日時 日曜・祭日除く毎日

午前十時～午後六時

○ロッタの会

発足 昭和五十七年四月

所在地 昭和分館内

代表者 我妻玲子(TEL58-3317)

会員 分館利用者

活動日時 月・土曜日 午前十

時～午後一時

司会 最後に、今後の抱負などありましたら……。

福田 絵本図書館では発足五周年を記念して、三月に文庫祭りを企画しています。

林谷 そういう機会に、他の文庫の人も集まって、宇都宮市全体の文庫まつりができたらいいですね。

我妻 そういう意味で、これから母親同士の交流もぜひやっていきたいですね。(全員がうなずく)

司会 ありがとうございます。

出席者

福田史子(宇都宮市絵本図書館、代表)

我妻玲子(ロッタの会、代表)

林谷政子(わんぱくくらぶ、代表)

時～午後四時(土曜日は午後〇時まで)
○わんぱくくらぶ

発足 昭和五十七年十月

所在地 戸祭元町二三七〇

代表者 林谷政子(TEL25-6356)

会員 昭和地区の小学生

活動日時 月・金曜日

午後一時～五時

※文庫に入りたい人は、代表者まで御連絡ください。

目録

問 自転車置場に線を引いて下さい。

答 自転車置場に「ここに自転車置いて下さい」という白線を近いうちに引きますので、利用者みなさんも、自転車を白線の枠の中にきちんと並べて置いて下さい。

なお、盗難防止のため、自転車には必ず鍵を掛け、荷物を置かないで下さい。荷物は一階のロッカーを利用して下さい。

読みきかせ講座

日時 三月十一日(日)

午後一時から三時

講師 児童文学者 清水道尾氏

場所 市立図書館 集会室

受付 三月二日から先着順受付

直接または電話で

定員 一二〇名

受講なさる方は紙しばい『ロボットカミイ ちびぞうの巻』または、八枚ものを読んでおいてください。

落語会

のんき亭喜楽一門のみなさんの出演です。

日時 2月19日(日)

午前10時

午前12時30分

場所 市立図書館

三階集会室

入場無料です。直接会場へおいでください。

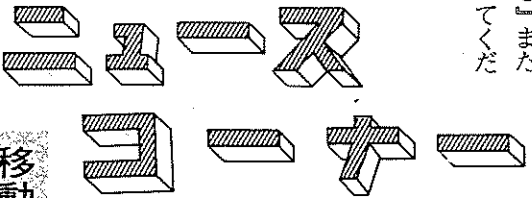
手づくりの本講座

今回はお正月も過ぎ、年賀状の整理を兼ねて、はがきの製本という事で講座を開きます。

ぜひご参加ください。

日時 2月19日(日)

午後1時30分～4時30分



移動図書館車の運休

昭和59年3月18日

昭和59年4月12日

この期間中は、蔵書の入替えや整理のため、移動図書館車はお休みになります。ご協力ください。

昭和59年度の日程は、図書館で配布するパンフレットや、広報紙、館報としようかん等をご覧ください。

昭和59年度の日程は、図書館で配布するパンフレットや、広報紙、館報としようかん等をご覧ください。

会場 市立図書館三階集会室
定員 一〇〇名
実費 一、二〇〇円
講師 石井力太郎氏(書籍製本文化技術賞受賞者)
受付 2月10日から先着順受付
直接または電話で
持参物 筆記具・のりばけ・はさみ・古新聞・セロテープ・ものさし・がびよう・かなづち・目打ち・カッター・ベニア板・エプロン・手ふき・はがき

貸出状況

	58年12月	58年度累計 58/4~58/12
登録者数	838人	72,179人
貸出人数	館内	16,533
	視聴覚	1,865
	館外	2,434
	計	20,832
貸出冊数	館内	52,721冊
	視聴覚	4,036
	館外	10,830
	計	67,587
	531,737冊	39,804
	127,282	698,823

利用案内

○開館時間

午前9時30分～午後7時
ただし、児童図書室は
午前9時30分～午後5時

○休館日

毎週月曜日

国民の祝日

図書整理日(毎月初日または翌日)

○貸出は

一人5冊(レコード・テープを含む)。2週間以内
○変更の届出は早目に。
異動が多くなる時季です。
転居など変更があった場合には、早目に届出を。

3月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
					①	2 3
4	⑤	6	7	8	9	10
11	⑫	13	14	15	16	17
18	⑲	⑳	21	22	23	24
25	②⑥	27	28	29	30	31

2月の休館日

日	月	火	水	木	金	土
					①	2 3 4
5	⑥	7	8	9	10	⑪
12	⑬	14	15	16	17	18
19	⑳	21	22	23	24	25
26	②⑦	28	29			

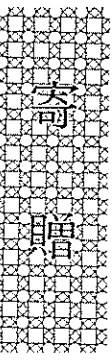
ボランティア製作

あたらしい本

▽人名(木村あい)
▽熱帯雨林▽発車のベルは聞こえずともーおやこでチャレンジ2万キロ(以上藤田東子)
▽思い出のともしび・白い夏(佐藤孝子)▽チンネの裁き・消えた

点訳図書

▽音楽の誕生と歩み・下巻・全2巻(岩瀬恭子)▽松谷みよ子全集15・全2巻(塚原瑛智子)・金須茂登子)▽おやつがほーいどっさりほい(北川君子)▽祖母わたしの明治・全3巻(増山初美)▽水仙月の四日(宮川こずえ)



渡辺きよし「狐火」・手塚七木

「七木雑記帳」・堺みずほ「続陶鈴有情」・山越幸吉「一滴の水」

ほか・永野通夫「中国五千年」・(下)ほか・宇都宮商工会議所「宇都宮商工名鑑一九八三年」・螺良政雄「懐かしい風俗誌」・上野福治「歌集鶴と祈り」・公文教育研究

研究会「未然に防ごうシリーズ」・ほか多数。